



パロンピック開幕



パロン吉元さん



聖ペンランナーが
さっそうと登場



子どもたちにアドバイス
するパロンさん



熱中して書く

ふるさとでパロンピック

伸び伸び漫画書き



金賞を受賞した下西ノ園さんと作品

指宿総合体育館で11月23日、小学生を対象とした漫画バトル「パロンピックイン指宿」が開かれました。子どもたちの創造力を伸ばそうと、本市出身の漫画家・パロン吉元さん（旬の人22〜23ページ参照）が企画。市内の小学校から選ばれた159人が漫画アスリートとなり、漫画の腕を競いました。

審査員は、モンキー・パンチ氏ら5人の漫画家やパロンさんの同級生の小田美穂子さん（丹波校区迫北）など10人です。

漫画アスリートの子どものほか、応援に駆けつけた保護者や学校関係者ら約500人の熱気でいっぱい会場に、丹波小6年の渡辺鴻太郎くん（摺ヶ浜南）がオリンピックの聖火をもじった「聖ペン」を持って登場。そして、山川小6年の児玉大貴くん（町5区東）と開開小6年の吉留麻耶さん（十町区入野）が選

手宣誓したあと、大会会長であるパロンさんが「イッシーの友だち」というテーマを発表して、漫画バトルがスタートしました。子どもたちは池田湖に住むといわれる謎の生物イッシーにふさわしい友だちを、独創的な発想で次々と書き上げていき、審査員らを選ばせました。

審査の結果、入選者20人が決まり、その中から金メダルに輝いたのは、丹波小6年の下西ノ園のぞみさん（潟口）。「イッシーにいつでも会いに行けるように、空を飛べる生き物にした。将来は漫画家になりたい」と話しました。

その他の入賞者は、銀賞が柳田小5年の藤崎友理さん（南十町）、銅賞が柳田小3年の室屋有香さん（南十町）、入賞は大成小4年の苜蒲谷将くん（小川区谷村上）と池田小5年の中俣頼人くん（中浜）、魚見小6年の徳永春華さん（五郎ヶ岡）でした。

先人の苦勞をしのんで 種子島岳之田集落と交流



祖先をしのぶ



温かく迎える福元区民ら

11月23日、福元公民館でやまがわ豊祭ほせまつが開催され、西之表市岳之田集落の住民19人が招待されました。一行は22日に到着、長崎鼻の風景を楽しんだり、寺で先祖の霊を供養したりしました。

明治初期、山川は飢饉ききんに見舞われていました。たまたま山川の鰻温泉に湯治に来ていた種子島の篤農家、河内かわち覚右衛門あきえもんが自分の土地での開墾を勧め、これに応じた数人の住人が種子島に入植しました。今回招待された一行は、その子孫にあたります。

きっかけは、市民からの情報により、入植者の子孫が暮らしている岳之田集落の存在が明らかになったことです。これを受けて5月と6月に福元区の役員らが現地を訪問。今回の交流に結びつきました。

福元区の今村善哉区長（後馬場）は「今まで何も交流がなかったが、これを機に、この縁を大切にし、交流を深めていきたい」と話していました。

今年もお日見え

今和泉小にジャンボ門松

今和泉小の正門に12月9日、恒例のジャンボ門松が設置され、新年を迎える準備が整いました。門松づくりは同小PTAとそのOBらが企画。児童と保護者、教職員、校区民が竹の運搬から土台作り、飾り付けまで、約3時間かけて作り上げました。2段づくりで高さはなんと4m、直径は2mもあります。見応えのある門松は、ドライバーやそばを通るJRの利用者の目を楽しませていました。



大きな門松を前に記念撮影



防火をPRしたランナーたち

防火意識を高めて

第16回防火マラソン

秋の全国火災予防運動期間中の11月15日、第16回防火マラソンが開催されました。空気が乾燥し、火災が発生しやすいこの時期、防火PRを兼ねて指宿消防署などが企画したものです。20人の消防士らは、指宿消防署額娃分遣所をスタートし、指宿消防署までの約28kmを走破しました。ランナーの片野田紀久さん（丹波校区片野田）は、「私たちのPRで、市民の防火意識が高まってくれば」と話していました。

夢をありがとう

田之上慶三郎投手が現役引退

市出身でソフトバンクホークスの田之上慶三郎投手が、今季限りで現役を引退しました。18年の現役生活の中で残した功績を称えるとともに、多くのファンに夢を与え続けたことに対して、12月11日、市内のホテルで「田之上投手 夢をありがとう会」が開催されました。今後、田之上投手は2軍コンディショニング担当としてチームに残り、後進の指導に当たるとのことです。



18年の労をねぎらい田之上投手に感謝状



合併協定書を手に発展誓う

新名称は「菜の花商工会」

山川・開聞町商工会が合併調印

山川町商工会（福ヶ迫昭善会長）と開聞町商工会（宮崎泰会長）が11月26日、合併協定書に調印しました。新商工会は来年4月1日、「菜の花商工会」として発足します。本所は現在の山川町商工会に、支所は開聞町商工会に置かれます。名称の「菜の花」は公募で集まった30点の中から、菜の花マラソンで定着しており、指宿のイメージにふさわしいとして決められました。

女性まとまり地域の力

24回も続く忘年会

成川区神方地域を中心とした女性の集まりの忘年会が11月24日、神方クラブで行われ、約60人が参加しました。今年は認知症をテーマにした寸劇が披露され、真剣に聞き入りながらも、会場は笑いに包まれていました。昭和59年から始まったこの忘年会がきっかけで地域の女性が集まり、今では防災訓練や独居老人への声掛けなども行っています。さらに今後は、火災報知機の普及も行う予定とのこと。



寸劇に笑いあふれる



ゲートに狙いを定めて

地域交流の輪広がる

市民親睦カントリーボール大会

休暇村指宿広場で11月18日、第2回市民親睦カントリーボール大会が行われ、33チーム、約200人が参加しました。選手らはプレーの合間の会話を楽しみながら、スポーツを通じて親睦を深めました。Aパート男性の部で松山安盛さん（利永区中）、女性の部で東畑ツルさん（同区東上）、Bパート男性の部で西村暎次郎さん（同）、女性の部で林田道子さん（成川区井手下）が、それぞれ優勝しました。

地域住民の良き相談相手

小村さんが法務大臣表彰

小村照子さん（丹波校区大牟礼西）が10月5日、法務大臣表彰を受賞しました。小村さんは平成2年3月に法務大臣から旧指宿市の人権擁護委員に委嘱されて以来、現在まで、人権問題等に対する身近な相談相手となってきました。また、地域において人権侵害があった場合には、速やかに適切な対応を行うとともに、人権尊重擁護活動の普及に努めるなど、これまで地域に密着した活動を行ってきました。



賞状を手に気持ち新たに



まちづくりにへの功績誇りに

市民みんなのおかげ

菜の花マラソンが総務大臣表彰

地方自治法施行60周年記念式典が11月20日、東京都で開催され、いぶすき菜の花マラソン実行委員会が「行政に積極的に参画し、またはコミュニティづくりに熱心に取り組んでいる団体」として、総務大臣表彰を受けました。12月3日、同実行委員会実行委員長長の山下建二観光協会長が市役所を訪れ、「受賞は、これまで携わったみんなのおかげ。みんなでもらった賞です」と喜びの報告をしました。

篤姫散策ルート等にベンチ設置

観光客らの休息に

11月18日、(社)県建築士会指宿支部青年部の会員らが、市内の山林の間伐材を使ってベンチづくりを行いました。会員らのボランティアで組み立てられ、20基のベンチが完成。今和泉の篤姫散策ロードをはじめ、市内の観光スポットに設置されました。上林山成宏部長（指宿校区道下）は、「観光客らにこのベンチで一息ついていただければうれしいです」と話していました。



手慣れた作業で組み立て



エール背に駆ける

一本のタスキつないで

市駅伝競走大会

市営陸上競技場周辺で12月16日、市駅伝競走大会が開催されました。一般の部は7区間14.6km、小学生の部は7区間11.1kmのコースで健脚を競いました。2回目となる今年是一般の部に17チーム、小学生の部に14チームが参加。選手らは、沿道から家族や友人の温かい声援を受けながら、元気に駆け抜けました。一般の部は指宿商業高校A、小学生の部は開聞ソフトボールスポーツ少年団が優勝しました。